

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2025年度 パフォーマンス向上会議情報(2025年6月16日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年6月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機原子炉格納容器ガス管理設備A系における希ガスモニタ等監視不可について】 当社運転員が免震重要棟の集中監視室において、3号機原子炉格納容器ガス管理設備A系のモニタ異常を示す警報発生を確認。 現場調査をしたところ、当該設備A系のサンプリングポンプが停止していることを確認したことから、当該設備A系において希ガスモニタ等の監視ができないと判断。 その後の現場調査の結果、当該設備の電源である4号機タービン建屋2階の所内共通電源盤(4C)のケーブル端子台付近に溶損跡を確認。 公設消防により、非火災と判断された。 なお、3号機原子炉格納容器ガス管理設備B系のサンプリングポンプは正常に動作しており、当該設備の希ガスモニタ等の指示値に異常はなく、プラントデータ監視に支障はなし。 今後、原因特定および再発防止対策を検討予定。</p>	G II	6月11日
2	<p>【5号機原子炉格納容器パージファン排風機ファン側プーリーの溝摩耗について】 協力企業作業員が5号機原子炉格納容器パージファン排風機のVベルト交換作業において、4本中1本のVベルトの張り荷重が規定値よりも低い値であることを確認。調査の結果、当該パージファン排風機ファン側プーリー(Vベルトから受け取った動力をシャフトに伝達する円盤状の部品)の溝の摩耗が原因であることを確認。 今後、摩耗しているファン側プーリーの交換を実施予定。</p>	G III	6月11日